

令和5年度水稻害虫トラップ情報（7月中旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺時期は平年よりやや早く、誘殺数は青森、木造で7月2半旬に急増して平年よりかなり多く、八戸は平年よりやや多く推移している。

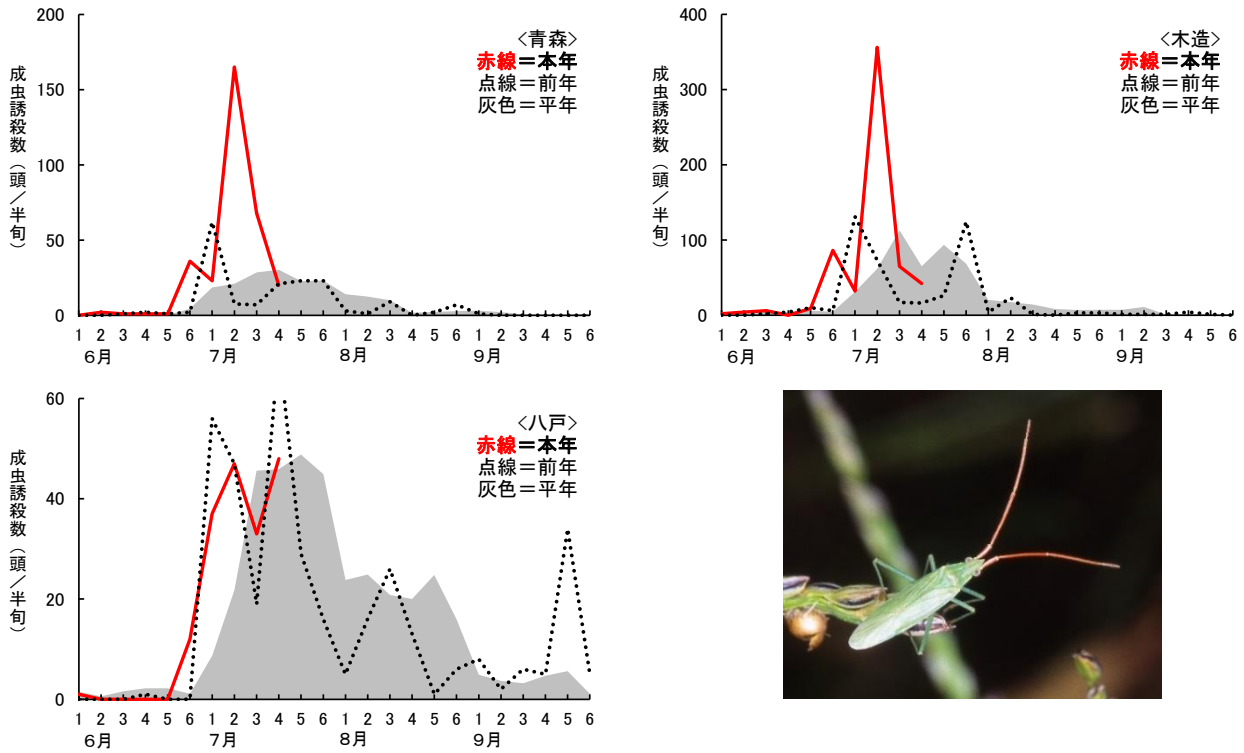


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第1世代成虫の誘殺時期は津軽地域が平年よりやや早く、県南地域では誘殺数が少なく判然としていない。誘殺数はいずれの地域も概ね平年並に推移している。

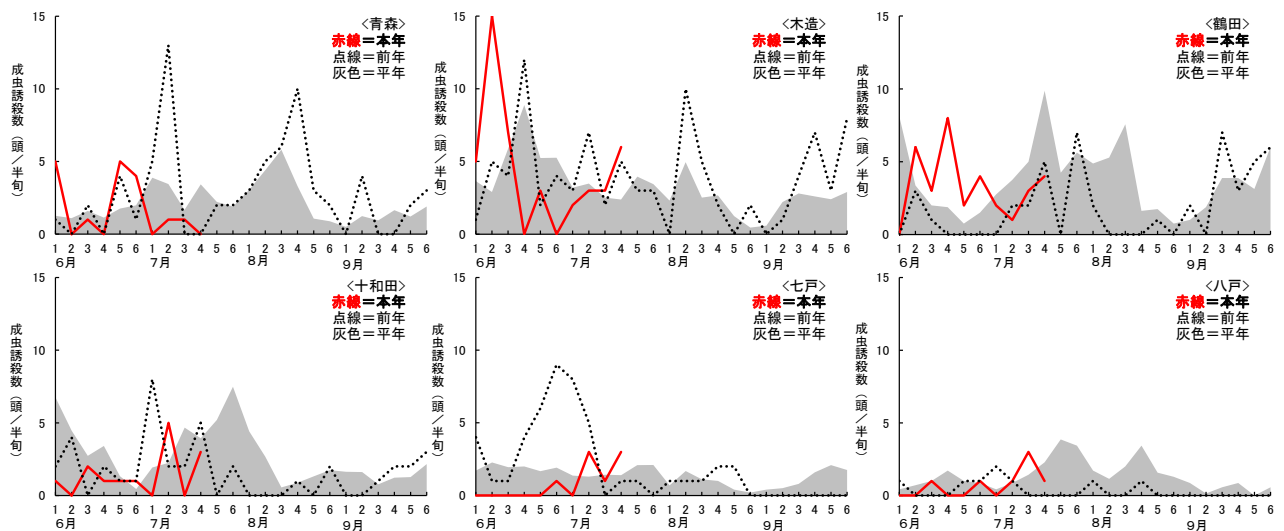


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去8か年、八戸が過去7か年の平均値。

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

越冬世代成虫の誘殺時期は概ね平年並であり、誘殺数は青森及び木造が平年より多く、八戸が平年並に推移している。

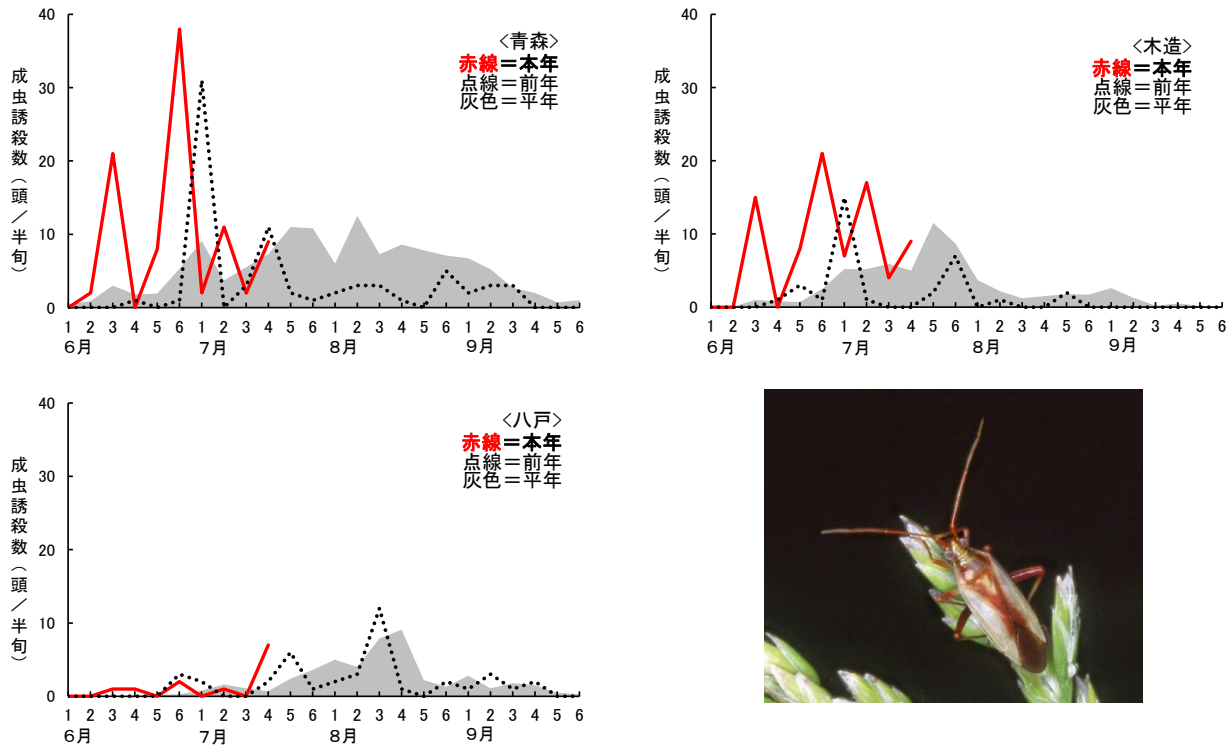


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

越冬世代成虫の誘殺時期は平年並であり、誘殺数は津軽地域が平年よりやや多く、県南地域が平年並に推移している。なお、七戸ではフェロモントラップによる誘殺が認められていない（7月4半旬現在）。

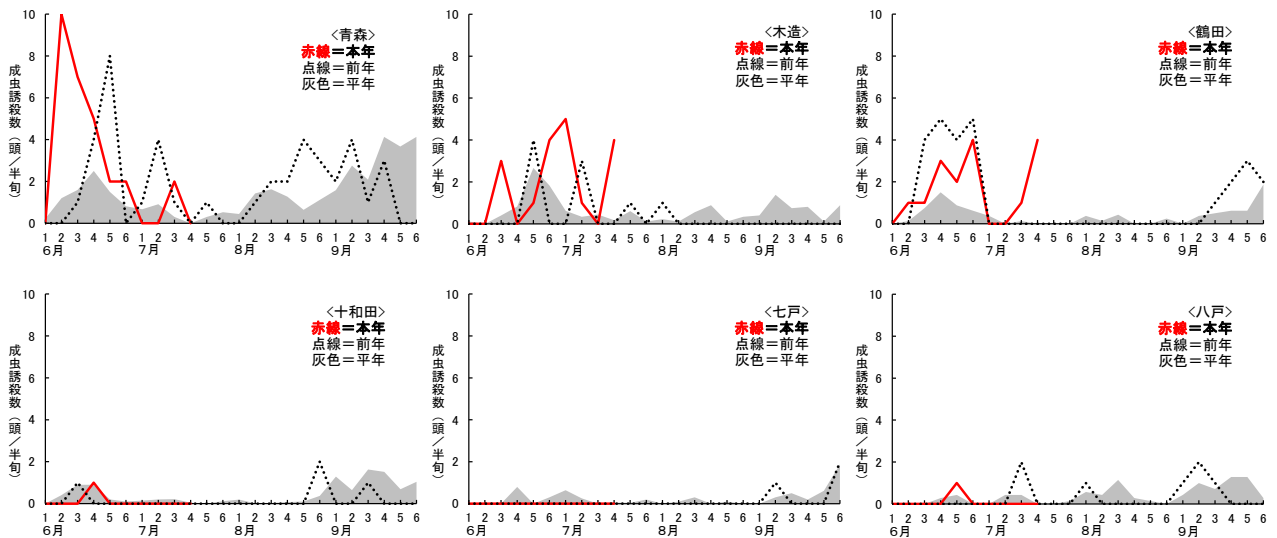


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸が過去10か年、木造が過去9か年、鶴田が過去8か年、八戸が過去7か年の平均値。

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺時期は平年並で、誘殺数は青森、木造が概ね平年並、八戸が平年より少なく推移している。

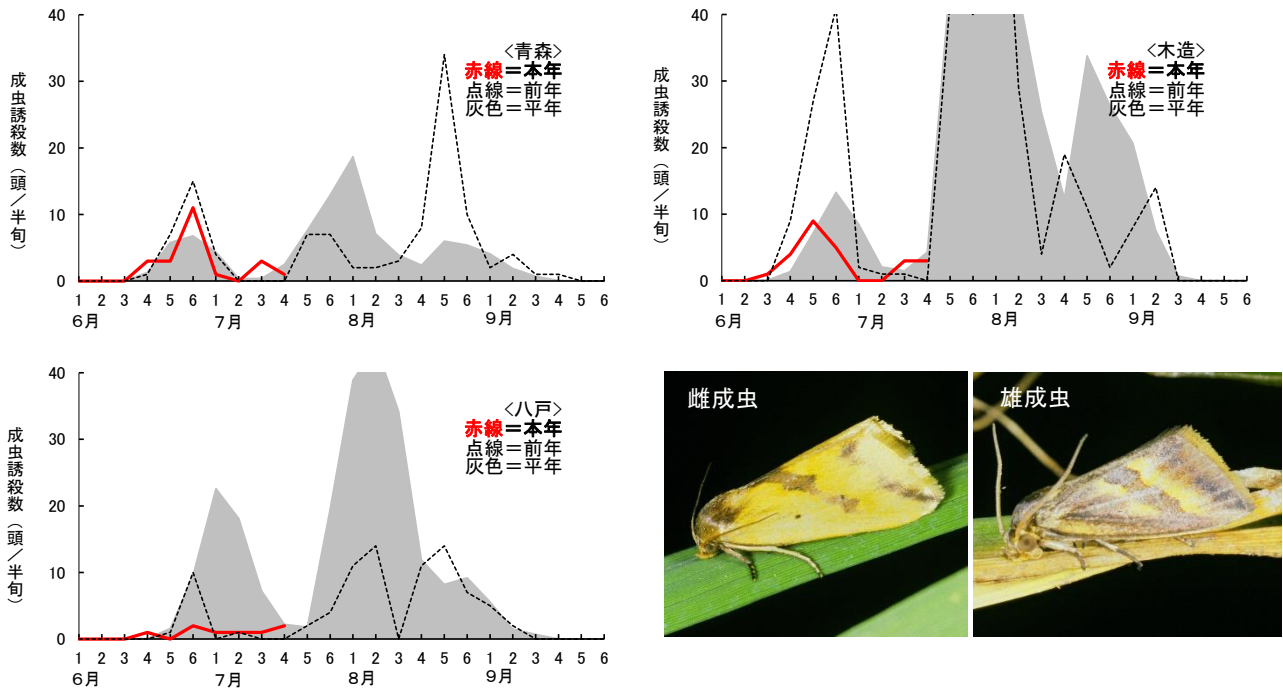


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

第1世代成虫の誘殺時期は平年並～平年よりやや早く、7月以降の誘殺数は鶴田を除き平年より少なく推移している。

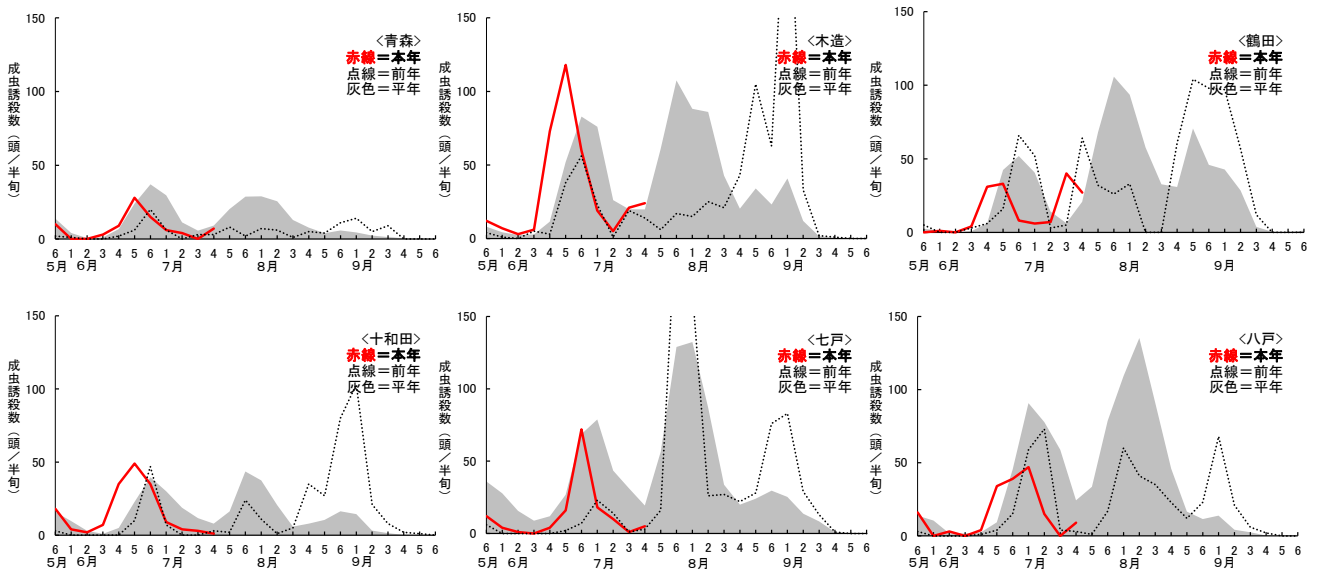


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：主幹 品川 聖也
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900